

梅雨入り後、関東では水不足の情報が出ており、例年とは違い雨が少ないと感じていましたがここ数日九州・四国を皮切りに、全国的な豪雨・雷雨となり各地に被害が出ています。この時期に雨が少なければ水不足となり、多過ぎても生活や農作物への影響や被害が発生します。少し前までは、梅雨は「しとしと」と風情と水の恵みをもたらしていたと思いますが、地球環境の変化からか、様々な気象から「適度」が無くなっていく様に感じます。

## ● 病床機能報告制度について ●

平成28年6月診療分から、レセプト電算データに『病棟の情報』（以降、病棟コード）を記録することとなりました

※平成28年4～5月診療分のレセプトの電算データに記録されていても問題ないものとされています。

### ●条件●

一般病床及び療養病床を有する病院で、レセプト電算請求を行っている病院

施設	対象病床	取り扱い
病院	一般病床・療養病床	記録必要
	精神病床	記録不要（記録しても差し支えない）
有床診療所	—	記録不要（1病棟として扱う）

※病棟の単位は看護基準の届け出単位になります。

対象の医療機関様におかれましては、ユーザテーブルの設定変更が必要となります。

設定の変更をされていない医療機関様におかれましては、設定の変更をお願い申し上げます。

ユーザテーブルの変更の詳細につきましては、以前弊社より発送させていただきました、「平成28年4月レセプト改定への対処」をご確認ください。

### ●対象ページ 「平成28年4月レセプト改定への対処」

HOPE SX-J / HOPE SX-R	31-32 ページ 第4章 病床機能報告制度について
HOPE EGMAIN-RX	記載なし

また平成28年10月の「病床機能報告」の際に、各医療機関の病棟とレセプト電算データに記録された「病棟コード」とを関連づけるため、病床機能報告を行う際には対応表を報告（記載）することとされています。「平成28年4月レセプト改定への対処」の『付録3 病床機能報告用病棟コード一覧のCSV ファイル出力について』の手順を実行することで、[新]ユーザテーブルに設定された「病棟コード」の一覧をCSV ファイルに出力することができます。

HOPE SX-J / HOPE SX-R	付録3 病床機能報告用病棟コード一覧のCSV ファイル出力について
HOPE EGMAIN-RX	記載なし

## ● レセプトチェックソフト【べてらん君コラボ】のご紹介 ●

医事システムで作成した、レセプトの電算データの内容チェックを行い、レセプト時期の事務作業負担軽減と、算定漏れの防止を行います。

主な機能は、下記のようにしております。

主な機能等	
算定漏れチェック	
算定日情報チェック	病名開始日、医薬品投与日、診療行為実施日等の妥当性チェック
履歴チェック	過去のデータまで遡って、数か月に1回算定される診療行為等の重複や算定漏れのチェック
縦覧チェック	入院前、退院後の外来等、入院外来をまたいだチェックが可能です。
院外処方チェック	院外処方方の内容より、章病名との整合や用量・投与日数までのチェック

主なチェック項目		
診療行為、医薬品と傷病名の整合性	診療識別チェック	併算定チェック
診療行為、医薬品の履歴チェック	入院基本料チェック	保険者番号/記号チェック
入院/外来をまたいだ縦覧チェック	注加算(入力順、重複)	未コード化傷病名チェック
院外処方箋チェック	調剤料と投与日数	症状詳記チェック
傷病名、部位チェック	診療行為回数と実日数	項目検索チェック
診療行為回数チェック	施設基準チェック	併用禁忌医薬品チェック
医薬品用量チェック	年齢チェック	禁忌傷病名チェック
傷病名期間チェック	入院、外来コード適用	併記病名チェック
傷病名と指導料	病院診療所コード適用	算定日情報チェック
レントゲン部位チェック		

当社ではレセプトチェックソフト【べてらん君コラボ】の取り扱いを行っておりますので、興味のある医療機関様におきましては、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

資料の送付や、病院様にてシステムの事前紹介(デモンストレーション)等も行わせていただきます。

## ● 停電時のUPS(無停電装置)の対処法について ●

コンピュータを使用中に停電などが原因で電源断になると、コンピュータ上のデータが失われたり、ハードウェアが壊れて機能しなくなることがあります。

これらを防ぐために、多くのコンピュータにはUPS(Uninterruptible Power Supply/無停電電源装置)を接続しています。UPSは蓄電機能を内蔵し、停電時でも一定の時間(3分~5分)コンピュータに電気を供給する電源装置です。コンピュータを使用中、停電などで電源断になるとコンピュータの電源は一時的にUPSからの電源供給に切り替わります。

### 【突然、停電になったら】

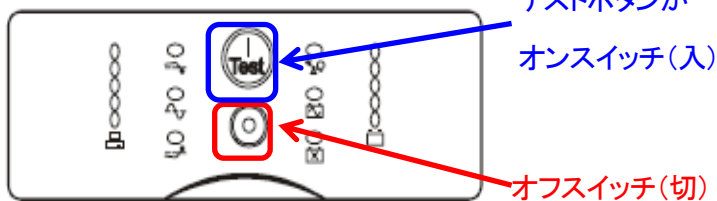
1. コンピュータを使用中に停電になると、UPSから「ピー」などのアラーム音が鳴ります。  
子機は電源が落ちてしまいますが、親機はUPSからの電源供給により電源が確保されています。  
UPSの機種によっては、アラーム音停止のボタンがある場合もあります。
2. 親機でアラーム音が鳴ったら、UPSからの電源供給は一時的でしかないため、電源供給している間にHOPEの全ての業務を終了し、初期メニュー画面より「コンピュータの電源を切る」を選び電源を落として下さい。
3. UPSの電源をオフにします。  
コンピュータが完全に停止したら、アラーム音が鳴り続けるため電源をオフにします。  
※UPSからの電源供給には限りがある為

### **【主な機種のUPSの電源位置】**

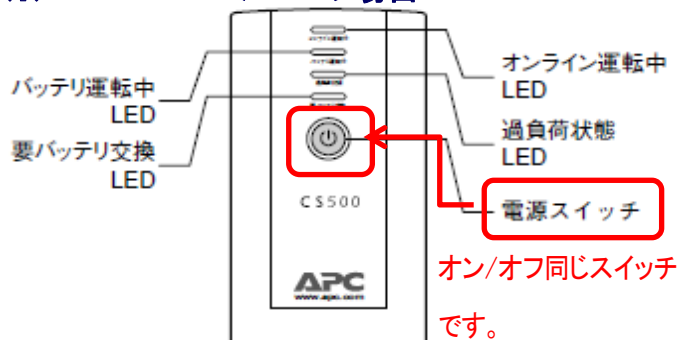
電源スイッチが1つのものと、2つのものがあります。

#### **※APC Smart-UPS**

**SUA500JB/SUA750JBの場合**



#### **※APC CS350/500の場合**



### 【停電から復旧したら】

1. UPSの電源をオンにします。
2. コンピュータの電源を入れて下さい。  
※当日の業務終了後は、通常どおりバックアップ後、電源切断を行ってください。

### 【注意】

※停電の復旧後、UPSの電源を入れ忘れるとコンピュータの電源が入りません。

※UPSのバッテリーが充電されていないと、接続していても機能しません。

**※あらかじめ停電になることがわかっている場合は、UPSに頼らず、コンピュータの電源を落としておくことをお勧めします。**